

「純朴にしてたくましい子ども」を育む児童の学力向上を願って ～令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果と考察～

1 学力状況調査の結果

今回の調査では、北山小学校の平均正答率は、国語、算数ともに、全県及び全国の平均正答率を上回る結果となりました。各教科の調査結果に見られる傾向は次の通りです。



(1) 国語

今回の結果を学習内容ごとに見ていくと、「読むこと」「情報の使い方」「話すこと・聞くこと」に関する内容は全国平均・県平均を上回り、「書くこと」「言葉に関する項目」の内容は全国平均・県平均と同程度でした。特に、「話すこと・聞くこと」は全国平均・県平均を大きく上回りました。具体的には、「文章の内容理解」「自分の考えをまとめて書く」「インタビューの仕方」に関する問題が全国平均・県平均を大きく上回り、反面、「漢字の習得」は全国平均・県平均を若干下回りました。

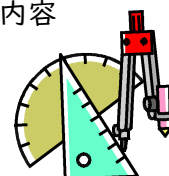
また、通知表にある評価の観点別に見ていくと、「知識・技能」に関する内容よりも、「思考・判断・表現」に関する内容の方が平均正答率が高い傾向にありました。



(2) 算数

今回の結果を、算数の学習内容別に見ていくと、「データの活用」「変化と関係」「数と計算」の内容は全国平均・県平均を上回り、「図形」の内容は全国平均・県平均と同程度でした。特に、「データの活用」は全国平均を大きく上回りました。具体的には、「商の意味を考える」「表を読み取る」「グラフを読み取り違いを記述する」といった問題が全国平均・県平均を大きく上回りました。反面、「台形の理解」や 50×40 といった「乗法の計算」は全国平均・県平均を下回りました。

また、通知表にある評価の観点別に見ていくと、国語と同様、「知識・技能」に関する内容よりも、「思考・判断・表現」に関する内容の方が平均正答率が高い傾向にありました。



2 学習状況調査(児童質問紙)の結果

日頃の学校生活や学習に関する、選択式による質問紙の結果は以下の通りです。

「あてはまる」「している」を選択した児童が、県平均・全国平均より比較的高い項目

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・読書は好きですか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか

「あてはまる」「している」を選択した児童が、県平均・全国平均より比較的低い項目

- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- ・算数の勉強は好きですか
- ・英語の勉強は好きですか
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか

3 結果をもとにした今後の取り組みについて



・質問紙において、「話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする学習ができています」と考える児童が多かったことは、「思考・判断・表現」に関する問題が比較的良好にできていたことにつながると考えます。引き続き、自分の考えを伝えたり、相手の意見から考えを深めたりする「対話」の機会を、授業場面で意図的に設けていきます。

・質問紙において、「教師はよさを認めてくれる」「分からないところを教えてくれる」と考える児童が多かったことは、質問紙において「学校生活を楽しいと感じる」「自分を肯定感に受け止めている」「学習に主体的に取り組んでいる」と考える児童が多かったことにつながると考えます。平均正答率とも関連していると考えます。学力向上の前提となる、一人一人が大切にされる、自分のよさを感じる事のできる学級づくりを大切にしていきます。

・国語での漢字の習得や算数での図形の性質の理解、乗法の計算など、「知識・技能」に関する内容について、さらに学習を充実させていきます。タブレットの利用などを等して、一人一人の学力差や得意不得意に対応した学習を進めていきます。



・国語における情報と情報を関連付けて考える問題は、結果に大きな差がありました。着実な情報活用力を身につけるため、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を適切に活用したりする学習を、国語に限らず進めていきます。また、興味・関心や必要感に応じて、様々な情報に触れることのできる環境を整えていきます。

・質問紙において、「読書が好き」と考える児童が多かったことは、国語の平均正答率と相互に関連していると考えます。また、質問紙で「国語が好き」「物語を読むときに具体的にイメージしている」と回答した児童が多かった事ともつながっていると考えます。国語の学力にもつながる読書活動の充実を今後も進めていきます。



・算数の平均正答率が、県平均・全国平均を上回るにもかかわらず、質問紙では、「算数が好き」と答える児童が平均より少なく、「英語が好き」と答える児童も同様でした。児童の日常にある事象と関連させながら、また体験活動を大切にしながら、興味関心から授業を構成することを大切にします。